

洪水浸水想定区域作成条件

本サイトの「洪水浸水想定区域」は、想定最大規模または計画規模の降雨により、浸水が想定される区域および水深を表示しています。

表示している「洪水浸水想定区域」には以下の2種類の図があります。

1. 洪水浸水想定区域図：水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域および浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

洪水浸水想定区域図は指定時点の河川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）または洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率の降雨（計画規模降雨）に伴う洪水により、河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨および内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 水害リスク図：法指定河川以外の県管理河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域および水深（水害リスク）を表示した図面です。

水害リスク図は公表時点の河川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）または洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率の降雨（計画規模降雨）に伴う洪水により、河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨および内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスク図に着色されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

洪水浸水想定区域作成における基本事項等は、各河川の洪水浸水想定区域図および水害リスク図のPDFで確認できます。

≪洪水浸水想定区域作成における基本事項等を確認する方法は次ページを参照してください。≫

==用語の説明==

- ・洪水浸水想定区域（想定最大規模）：想定最大規模の降雨により、浸水が想定される区域のことです。
- ・洪水浸水想定区域（計画規模）：計画規模の降雨により、浸水が想定される区域のことです。
- ・想定最大規模降雨：概ね1,000年に1度以上の確率（年超過確率1/1,000）で発生する降雨のことです。
- ・計画規模降雨：その河川を将来的に氾濫させないように整備する際に目標とする大雨のことです。河川の流域の大きさや、氾濫が想定される範囲の資産状況などを考慮して定めたもので、河川毎に個別に定めています。
- ・その他の用語は「[用語の説明](#)」を参照してください。

① 「表示中の河川一覧」から浸水想定区域作成における基本事項等を
確認したい河川をクリック



水害ハザード情報
ふくい

各河川の洪水浸水想定区域を表示しています

<http://> URLを表示

注意 下にある洪水浸水想定区域は **竹田川・田島川・高間川** が氾濫した際の浸水状況を示しています。浸水想定作成条件は [こちら](#) を確認してください。

洪水浸水想定区域のPDFはこちら

■洪水浸水想定区域(想定最大浸深)	
0.5m未満	Yellow
0.5～3.0m未満	Light Orange
3.0～5.0m未満	Red
5.0m以上	Dark Red

0 1 25km



- ### 1 説明文
- (1) この図は、九頭龍川水系竹田川について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合には想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の竹田川の河床および洪水調護施設の整備状況を勘案して想定される最大規模の降雨により湧き上る竹田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあつたのは、支川の氾濫、シミュレーションの信頼とない降雨を越える規模の降雨および内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ### 2 基本事項等
- (1) 作成主体 福祉県
- (2) 指定年月日 令和元年6月4日
- (3) 告示番号 福祉県告示第46号
- (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第133号）第14条第1項および第2項
- (5) 対象となる洪水予報河川
九頭龍川水系竹田川
上段：北藤自動車道（坂井市九頭龍町上地先）から九頭龍川合流点まで
下段：北藤自動車道（坂井市九頭龍町上地先）から九頭龍川合流点まで
- (6) 指定の根拠となる降雨
竹田川流域の1日間の総雨量69.0mm
- (7) 関係市町 坂井市、あわ市
- (8) その他計算条件等
- 1) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
- 2) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量および基盤地図情報（数値標高モデル）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表れていない場合があります。
- 3) 連続して発生した道路や河川の堤防等については、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

各河川のシミュレーション条件の
詳細な説明等